

せいそうこうじょう やくわり 清掃工場の役割

たいせつ ちゅうかんしより 大切な中間処理

げんざい くない せいそうこうじょう
現在、23区内には21の清掃工場があります。

きたせいそうこうじょう えどがわせいそうこうじょう た か かどう ていしちゅう
※北清掃工場、江戸川清掃工場は建て替えのため稼働を停止中です。

ごみ箱にもものを入れるときに、大きなものがそのまま入っていると他のごみが入りません。埋立処分場も同じです。そのままの大きさで埋めるとあっという間にいっぱいになってしまいます。

燃やすごみは清掃工場で燃やして、容積を小さくしています。この「ごみを小さくする」ことを中間処理といいます。燃やした後の灰は、もとの大きさの約20分の1になります。

さらにその灰を徐冷スラグ化※し道路工事の材料などとして活用することにより、埋立処分量を削減することができます。



800度以上の高温で

燃やして $\frac{1}{20}$ に



1,200度以上の高温で

スラグにして約 $\frac{1}{3}$ に



(徐冷スラグ)*

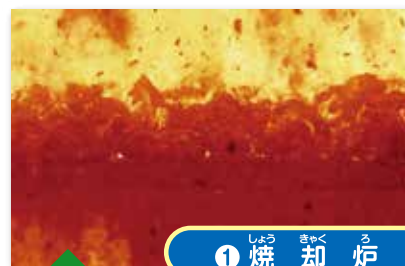
(*くわしくは19ページ※2をみてね)



せいそうこうじょう 清掃工場のしくみ

くうきをよごさないための方法

- ① 800度以上の高温で燃やします (焼却炉)
- ② 燃やした際に発生した温度を150度に冷やし有害なガスができないようにします (減温塔)
- ③ 有害な成分をフィルターで吸い付けます (ろ過式集じん機)



① 焼却炉



ごみクレーン
ごみホッパ

■ごみクレーン: ごみバンカにあるごみをつかみ上げ、ごみホッパに入れる機械
■ごみホッパ: ごみを焼却炉へ送るところ



プラットホーム

■運んできたごみを、ごみバンカに入れるところ



ごみバンカ

■ごみを一時的にためるところ